



三河路に春を告げる「滝山寺鬼まつり」開催

鎌倉時代から800年続くと伝わり、天下泰平（てんかたいへい）・五穀豊穡（ごこくほうじょう）を願った天下の奇祭と言われる「滝山寺鬼まつり」を今年も参観しました。

天下泰平（てんかたいへい）とは、世の中が何事もなく無事に治まって平和であること。五穀豊穡（ごこくほうじょう）とは、五穀（米・麦・粟〈あわ〉・黍〈きび〉・稗〈ひえ〉）の豊かな収穫と食料の豊富さを願うことを意味します。

午後3時からの大松明行列から参観しましたが、滝山寺仁王門には、常磐小学校の子供たちだけでなく、日頃から学校評議員としてお世話になっている方々や学区を支える活動に携わる地域の方々、保護者の方々など、常磐小学校に関係のある顔がいっぱいで大変嬉しく思いました。もちろん、孫面、若徒（わかとう）を務めた4年生3人の姿もあり、世代を超えた地域の人々の伝統を受け継ぐ気持ちが繋がって、「滝山寺鬼まつり」があるのだと実感しました。今年は3月16日（土）午後4時からCBCテレビで日本の祭りとして紹介されることもあり、昨年以上に盛り上がっていました。



午後5時から登山行列、続いて仏前法要、長刀お礼振り、鬼塚供養（豆まき）、庭まつり（田遊祭）と、国指定重要文化財の本堂内や境内、舞台上で見ごたえのある演目が披露されました。そして、午後7時45分からのクライマックスである「火まつり」では、燃え盛る炎の中に孫面（まごめん）、祖父面（そふめん）、祖母面（そぼめん）、の3面が現れ、邪鬼を祓って天下泰平・五穀豊穡を祈り大歓声に包まれました。何度見ても感動で胸が熱くなる常磐の伝統のお祭りです。

まだ生で観たことのない人は、ぜひ一度見てみるといいですよ。



ときわっ子とともに願いを込めて 大願成就



2月19日（月）の全校集会で、瀧山寺節分会の折にときわっ子みんなの願いが叶うようにご祈祷をしていただいた達磨（だるま）に、目入れを行いました。私の願いは、校訓「強く正しくすこやかに」のもと、ときわっ子みんながすこやかな心と体で笑顔で元気に過ごし、安心して学校に登校できることです。みんなで常磐小をさらに素敵な学校にしていきたいと思います。

また、2月22日（木）に4年生は地元の瀧山寺を訪れて、瀧山寺にまつわる歴史や文化財について学びを深めました。質問内容の素晴らしさにご住職の方も驚いてみえ、子供たちの瀧山寺に対する思いの強さを感じました。これからも学区の伝統や文化を守り続けていきたいものです。

